



曼陀羅山

大津市立真野北小学校 学校だより

No.8 令和6年10月29日(火)

児童数188名

☆人とのつながりを大切に育てる子ども ☆自分の課題に粘り強く取り組む子ども



聴き合う 学び合う つながり合う

<全国学力・学習状況調査の結果について>

令和6年4月18日に、6年生を対象に全国学力・学習状況調査として、「学力調査（国語・算数）」と「児童質問紙調査」が実施されました。文部科学省よりその結果が送付されましたので、概要についてお知らせします。

【令和6年度全国学力・学習状況調査分析結果】

《概要》

本校の平均正答率は、国語科、算数科ともに全国平均を下回りました。項目別にみると、国語科では「我が国の言語文化に関する事項」の観点では全国平均を上回りました。「思考力・判断力・表現力」で弱さが見られ、特に「書くこと」については大きく下回りました。算数科では、「数と計算」で、大きく下回りました。

児童質問紙調査においては、「学習に対する興味・関心」の項目については全国平均より高い傾向が見られ、「生活習慣・学習習慣」の項目については低い傾向が見られました。

《本校の強み・弱み》

《強み》

・国語科より

物語文において、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉える力がついてきました。(グラフ1)

・算数科より

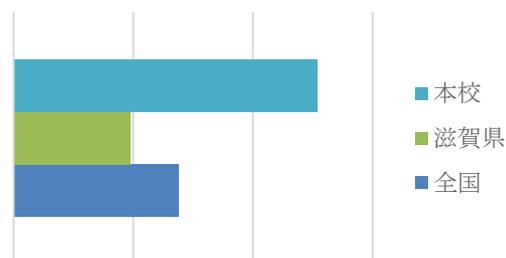
円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力がついてきました。(グラフ2)

・質問紙より

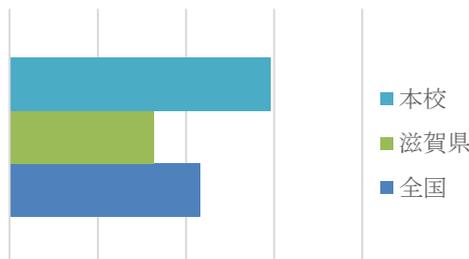
「学校に行くのは楽しいですか。」「国語や算数、理科の勉強は好きですか。」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が、全国平均より上回っていました。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合が高かったです。

物語文（グラフ1）



円グラフの読み取り（グラフ2）



※裏面もご覧ください。

《弱み》

・国語科より

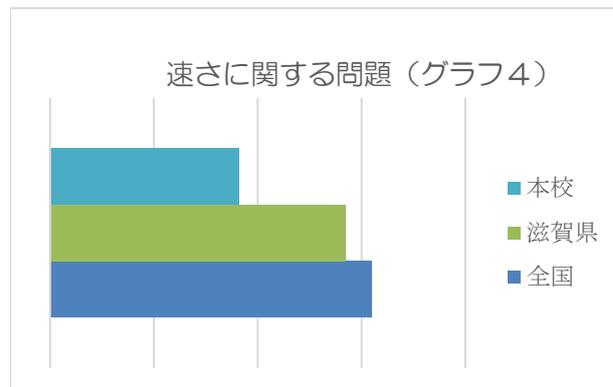
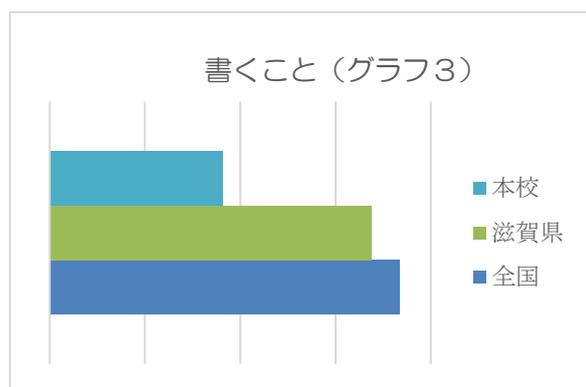
目的や意図に応じて、事実と感想、意見との区別が明確でないなど、自分の考えを条件に合わせてながら記述する力や伝えるための書き表し方を工夫する力に弱さが見られました。(グラフ3)

・算数科より

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することについて課題が見られました。(グラフ4)

・質問紙より

家庭学習の時間は全国平均より少なく、スマホ等で動画を視聴する時間は全国平均より多く、課題が見られました。



【指導の充実に向けて】

・本年度取り組んでおります、「書く力」の向上に向けて、国語科の授業研究を一層進めていきます。

- ①「書く」活動へ慣れ親しむために、学習の振り返りや作文など書く活動を授業に取り入れる工夫をします。
- ②様々な文章に触れる機会を設けて、正しい文章構成や言葉を学ぶ時間を充実します。
- ③教科指導の際には、自分の考えや答えを導く手順を、図や表、文章で書き表す学習活動を行い、筋道を立てて考えることができるような授業づくりを進めます。
- ④ICT 機器を適切な場面で積極的に活用していきます。
- ⑤「家庭学習のすすめ」の配布などを通して、家庭と連携し、音読や漢字、計算練習、自主的な学習など、家庭学習に取り組む習慣化を図ります。
- ⑥本校の児童のもつ学習活動への前向きな姿勢をしっかりと支え、具体的な行動力や思考力につながるよう、子ども一人ひとりを大切にされた指導を続けていきます。